

消防用設備の **落とし穴** について - 西日本防災システム



スプリンクラー消火設備

スプリンクラー消火設備 →

消火設備の **落とし穴**
スプリンクラー消火設備



スプリンクラー消火設備



消火設備の中で最も代表的な、そして最も効果的な設備です。そのスプリンクラーに落とし穴が ??

防火対象物の内部でスプリンクラーヘッドが**設置されていない**場所が**意外と**たくさんあります。ヘッドが付いていなければ、**火災感知も放水もできません**。このようなスプリンクラーヘッドが

ヘッド危険部分について →

POINT! ● 設置されていない場所には必ず、**補助散水栓**が包含範囲内になるよう設置されています。これは**手動による消火作業**ですが、慌てずにゆっくりと！ 普段から**位置の確認**を！

POINT! ● **水損!** これはもう皆さんよく御存知ですね！ **鎮火後の適切な水処理**を怠りますと、もう大変です！ でも **水損を気かけすぎて、大切なバルブを誤操作!** なんてことが無いように!

POINT! ● 駐車場などの泡消火設備では、手動起動弁を開放することにより、手動で消火設備を起動させることができます。ですがスプリンクラー消火設備においては、**手動起動はありません**。(高天井など一斉開放弁を使うもの以外の一般防火対象物のスプリンクラー消火設備)

ですから目視で**火災を発見したら** **まず消火器!** これをお忘れなく! もし火が天井に立ち上がれば、**扉を閉めて 直ちに避難!**

他の消防用設備にも共通しますが、電力を必要とするスプリンクラーポンプにとって、専用受電での停電や非常用発電機の不起動や故障は、生命線を絶たれる事となります。



設備については →



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd
<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社Top Pageへ →